耳を澄ませば聞こえてくる、
目をとじれば浮かんでくる——

残したい“日本の音風景100選”

環境省
Ministry of the Environment

残したい“日本の音風景100選”の選定にあたって

●その土地の風景とともにある音

私たちの身のまわりには、さまざまな音があふれています。楽器が奏でる音から、自動車や鉄道などが発する音、鳥の鳴き声や林のざわめきなどの自然界から生まれる音まで、実に多種多様です。

そのなかには、その場所でしか聞くことのできない、その土地の風土を背景にした音もあります。そこでの“聞く”という体験は、音そのものだけではなく、目で見る風景とともに感じる、聴覚と視覚の体験といえます。このような、音の環境全体として体験される世界――それが「サウンドスケープ〈soundscape：sound（音）とlandscape（風景・景観）の複合語〉＝音風景」です。

日本は、四季の自然の変化に富み、多様な生き物に恵まれた国です。地域の風土にはぐくまれた文化も豊かに受け継いできました。そしていまも、日本各地で、それぞれ独自の音風景が残っています。その音風景は、そこで生活を営む人にとっては心にゆとりを与えてくれる、とても大切な、いわばふるさとのようなものかもしれません。

●まもり、伝えていきたい音風景

しかし、近代化・都市化の進展にともない、忘れられた音風景、失われつつある音風景も少なくありません。

そのような音風景をまもるために、平成8年、環境省（当時環境庁）では、「全国各地で人々が地域のシンボルとして大切にし、将来に残していきたいと願っている音の聞こえる環境（音風景）を広く公募し、音環境を保全する上で特に意義があると認められるもの」として「残したい“日本の音風景100選”」を選定しました。

この100選は、日本の音風景の多様性がそのまま反映されたものとなり、自然環境だけではなく、文化や地場産業が形成する音風景も含めた、幅広い内容になりました。その音源も、鳥の声や昆虫の羽音などの〈生き物の音〉から、川の流れや海の波などの〈自然の音〉、祭りや産業などの〈生活文化の音〉まで多岐にわたります。それぞれがその地域固有の、後世に伝えたい大切な音風景です。

●音風景の保全から地域づくりへ

本事業の大きなねらいは、「日常生活の中で耳を澄ませば聞こえてくるさまざまな音についての再発見を促す」ことです。音風景100選をもとに、より多くの人々に、自分の身近にある大切な音風景に気づき、関心をよせていただきたいと願っています。

また、「良好な音環境を保全するための地域に根ざした取組を支援する」ことも目的としています。本事業をきっかけに設立された「全国音風景保全連絡協議会」の主催により、認定地団体や一般市民の参加によって、平成９年から毎年「音風景保全全国大会」も開催されています。さらに、地域の人々を中心として、認定された音風景の周辺の環境を整備し、街づくりを進めている自治体もあります。

日常の何げない音に耳を澄ますことで、自分の音風景を発見する。それをまもり、将来に残していこうという意識が、身のまわりの自然環境保全、文化の継承、さらには地域づくりへとつながる――。この「残したい“日本の音風景100選”」の事業が、そのような可能性を広げていく契機になることを、大いに期待しています。

日本の音風景検討会

座　長　**山下充康**（財団法人小林理学研究所理事長）

岡島成行（環境ジャーナリストの会会長）
品田　穣（国際武道大学教授）
橘　秀樹（東京大学生産技術研究所教授）
鳥越けい子（聖心女子大学助教授）
堀　繁（東京大学アジア生物資源環境研究センター教授）
宮川輝子（静穏権確立をめざすグループ会長）
湯川れい子（音楽評論家、環境を守る女性の会WOMEN-1000代表）
渡辺俊雄（NHK編成局副部長）

（肩書きは平成８年当時のもの）

残したい“日本の音風景100選”

北海道 …… 5ページ

1	オホーツク海沿岸	オホーツク海の流氷
2	札幌市	時計台の鐘
3	函館市	函館ハリストス正教会の鐘
4	東川町	大雪山旭岳の山の生き物
5	鶴居村	鶴居のタンチョウサンクチュアリ

東北 …… 6～9ページ

6	青森県／八戸市	八戸港・蕪島のウミネコ
7	青森県／三沢市	小川原湖畔の野鳥
8	青森県／十和田市	奥入瀬の渓流
9	青森県／青森市、弘前市	ねぶた祭・ねぷたまつり
10	岩手県／大船渡市	碁石海岸・雷岩
11	岩手県／奥州市	水沢駅の南部風鈴
12	岩手県／滝沢村	チャグチャグ馬コの鈴の音
13	宮城県／仙台市	宮城野のスズムシ
14	宮城県／仙台市	広瀬川のカジカガエルと野鳥
15	宮城県／石巻市	北上川河口のヨシ原
16	宮城県／栗原市、登米市	伊豆沼・内沼のマガン
17	秋田県／能代市	風の松原
18	山形県／山形市	山寺の蝉
19	山形県／鶴岡市	松の勧進の法螺貝
20	山形県／酒田市	最上川河口の白鳥
21	福島県／福島市	福島市小鳥の森
22	福島県／下郷町	大内宿の自然用水
23	福島県／昭和村	からむし織のはた音

関東 …… 9～11ページ

24	茨城県／北茨城市	五浦海岸の波音
25	栃木県／栃木市	太平山あじさい坂の雨蛙
26	群馬県／吉井町	水琴亭の水琴窟
27	埼玉県／川越市	川越の時の鐘
28	埼玉県／江南町	荒川・押切の虫の声
29	千葉県／佐原市	樋橋の落水
30	千葉県／大多喜町	麻綿原のヒメハルゼミ
31	千葉県／松戸市 東京都／葛飾区	柴又帝釈天界隈と矢切の渡し
32	東京都／台東区	上野のお山の時の鐘
33	東京都／練馬区	三宝寺池の鳥と水と樹々の音
34	東京都／武蔵野市	成蹊学園ケヤキ並木
35	神奈川県／横浜市	横浜港新年を迎える船の汽笛
36	神奈川県／川崎市	川崎大師の参道
37	神奈川県／相模原市	道保川公園のせせらぎと野鳥の声

甲信越 …… 12～13ページ

38	新潟県／新潟市	福島潟のヒシクイ
39	新潟県／糸魚川市	尾山のヒメハルゼミ
40	山梨県／富士河口湖町	富士山麓・西湖畔の野鳥の森
41	長野県／長野市	善光寺の鐘
42	長野県／岡谷市、塩尻市	塩嶺の小鳥のさえずり
43	長野県／下諏訪町、諏訪市	八島湿原の蛙鳴

北陸 …… 13～14ページ

44	富山県／立山町	称名滝
45	富山県／富山市	エンナカの水音とおわら風の盆
46	富山県／南砺市	井波の木彫りの音
47	石川県／金沢市	本多の森の蝉時雨
48	石川県／金沢市	寺町寺院群の鐘
49	福井県／越前市	養脇の時水

東海 …… 14～15ページ

50	岐阜県／美濃市	卯建の町の水琴窟
51	岐阜県／郡上市	吉田川の川遊び
52	岐阜県／岐阜市、関市	長良川の鵜飼
53	静岡県／遠州灘	遠州灘の海鳴・波小僧
54	静岡県／川根本町	大井川鉄道のSL
55	愛知県／名古屋市	東山植物園の野鳥
56	愛知県／田原市	伊良湖岬恋路ヶ浜の潮騒
57	三重県／鳥羽市、志摩市	伊勢志摩の海女の磯笛

近畿 …… 16～18ページ

58	滋賀県／大津市	三井の晩鐘
59	滋賀県／彦根市	彦根城の時報鐘と虫の音
60	京都府／京都市	京の竹林
61	京都府／園部町	るり渓
62	京都府／網野町	琴引浜の鳴き砂
63	大阪府／大阪市	淀川河川敷のマツムシ
64	大阪府／八尾市	常光寺境内の河内音頭
65	兵庫県／神戸市	垂水漁港のイカナゴ漁
66	兵庫県／姫路市	灘のけんか祭りのだんじり太鼓
67	奈良県／奈良市	春日野の鹿と諸寺の鐘
68	和歌山県／橋本市	不動山の巨石で聞こえる紀の川
69	和歌山県／那智勝浦町	那智の滝

中国 …… 18～19ページ

70	鳥取県／米子市	水鳥公園の渡り鳥
71	鳥取県／三朝町	三徳川のせせらぎとカジカガエル
72	鳥取県／鳥取市青谷町、鳥取市佐治町	因州和紙の紙すき
73	島根県／大田市	琴ヶ浜海岸の鳴き砂
74	岡山県／真庭市	諏訪洞・備中川のせせらぎと水車
75	岡山県／新庄村	新庄宿の小川
76	広島県／広島市	広島の平和の鐘
77	広島県／尾道市	千光寺鷲音楼の鐘
78	山口県／山口市 島根県／津和野町間	山口線のSL

四国 …… 20～21ページ

79	徳島県／鳴門市	鳴門の渦潮
80	徳島県／徳島市ほか	阿波踊り
81	香川県／さぬき市	大窪寺の鐘とお遍路さんの鈴
82	香川県／満濃町	満濃池のゆるぬきとせせらぎ
83	愛媛県／松山市	道後温泉振鷺閣の刻太鼓
84	高知県／室戸市	室戸岬・御厨人窟の波音

九州・沖縄 …… 21～23ページ

85	福岡県／福岡市	博多祇園山笠の舁き山笠
86	福岡県／太宰府市	観世音寺の鐘
87	福岡県／北九州市 山口県／下関市	関門海峡の潮騒と汽笛
88	佐賀県／唐津市	唐津くんちの曳山囃子
89	佐賀県／伊万里市	伊万里の焼物の音
90	長崎県／長崎市	山王神社被爆の楠の木
91	熊本県／山都町	通潤橋の放水
92	熊本県／五和町	五和の海のイルカ
93	大分県／日田市	小鹿田皿山の唐臼
94	大分県／竹田市	岡城跡の松籟
95	宮崎県／小林市	三之宮峡の櫓の轟
96	宮崎県／えびの市	えびの高原の野生鹿
97	鹿児島県／出水市	出水のツル
98	鹿児島県／屋久町	千頭川の渓流とトロッコ
99	沖縄県／竹富町	後良川周辺の亜熱帯林の生き物
100	沖縄県／うるま市	エイサー

音源種別にみた件数分類

音源種別	選定数
●生き物	31
鳥の声	12
昆虫の声	7
カエルの声	2
その他の動物	2
植物	5
これらの複合	3
●自然現象	19
川、滝など陸水の音	10
波など海の音	9
その他の自然現象	0
これらの複合	0

音源種別	選定数
●生活文化	37
祭りなど行事の音	9
鐘など信号的な音	10
産業・交通の音	11
その他の生活文化	6
これらの複合	1
●上記の複合音	12
●その他（静けさ、分類不可能）	1
●合計	100

北海道

① オホーツク海の流氷

北海道／オホーツク海沿岸

音風景の種類●海

網走港からの眺め。遠くに見えるのは斜里岳

巨大な氷塊を見ることもできる

流氷は、毎年1月下旬から3月中旬ごろに、南宗谷から知床にかけて流れ着く。浜辺で耳を澄ませると、流氷のせめぎ合う音が「キュー」「グー」「クゥー」と聞こえてくる。北の海の冬を象徴する音風景である。

●**よく聞ける時期**／1月下旬から3月中旬
●**よく聞けるところ**／枝幸(えさし)市ウスタイベツ(ぴん)岬(じょういわ)。網走(あばしり)市北浜(きたはま)海岸ほかオホーツク海沿岸一帯
●**問い合わせ先**／北海道環境生活部環境局環境政策課環境推進グループ☎011(231)4111

② 時計台の鐘

北海道／札幌市

音風景の種類●鐘

周囲にビルがないころは、その音は4km四方に響いたという（写真／萩尾昇）

札幌のシンボルとして親しまれている時計台（旧札幌農学校演武場）に時計と鐘が設置されたのは明治14(1881)年。現在も休むことなく鐘の音を響かせ、時を告げている。

●**よく聞ける時期**／1年をとおして
●**よく聞けるところ**／時計台の周辺
●**問い合わせ先**／札幌市環境局環境都市推進部推進課推進係☎011(211)2877

③ 函館ハリストス正教会の鐘

北海道／函館市

音風景の種類●鐘

鐘の音は市街に響きわたる（写真／萩尾昇）

鐘は、その内側にある舌(ぜつ)についた紐を引いて鳴らされる

教会の鐘楼に吊られている大小6個の鐘が、土曜日は17時、日曜日は10時に鳴り響く。「ガンガン寺」の鐘の音として市民に親しまれている。現在の建物は大正5(1916)年に建築されたものである。

●**よく聞ける時期**／土曜日の17時と日曜日の10時
●**よく聞けるところ**／教会およびその周辺
●**問い合わせ先**／函館市商工観光部観光振興室観光課管理係☎0138(21)3327

④ 大雪山旭岳(たいせつざんあさひだけ)の山の生き物

北海道／東川(ひがしかわ)町

音風景の種類●生き物複合

秋、自然探勝路から望む旭岳

アイヌの人たちが「神々の遊ぶ庭」と呼んだ大雪山。その主峰旭岳の山麓にある自然探勝路を散策すると、氷河期から生息するナキウサギの声や、コマドリ、ミソサザイ、ルリビタキなど多くの野鳥の声が聞こえる。

●**よく聞ける時期**／4月から6月末の早朝
●**よく聞けるところ**／旭岳温泉街にある自然探勝路
●**問い合わせ先**／東川町産業振興課観光係☎0166(82)2111

姿見の池周辺で見られるノゴマ

⑤ 鶴居(つるい)のタンチョウサンクチュアリ

北海道／鶴居村

音風景の種類●鳥

給餌のときには数百羽が集まる

空に向かって鳴くタンチョウ。その声は「クルーッ、クルーッ」とかん高い

冬期に給餌が行われ、多いときには300羽を超えるタンチョウを眺めることができる。また、つがいが鳴き合う声や狐を警戒する声、若鳥の声など鳴き声のバリエーションも楽しめる。

●**よく聞ける時期**／10月下旬から翌年3月中旬
●**よく聞けるところ**／鶴居・伊藤タンチョウサンクチュアリ、鶴見台
●**問い合わせ先**／鶴居村産業課観光係☎0154(64)2114

東北

5 八戸港・蕪島のウミネコ

青森県／八戸市

音風景の種類●鳥

観光客で賑わう蕪島

春、力強く鳴くウミネコ

ウミネコの繁殖地として名高い天然記念物の蕪島と八戸港周辺で、5月初めごろからの産卵期に3万羽以上のウミネコが乱舞するさまは壮観。「ミャーミャー」という猫のような鳴き声はとても賑やかで、港町に響きわたる。

●**よく聞ける時期**／3月から7月ごろ
●**よく聞けるところ**／蕪島とその周辺の港
●**問い合わせ先**／
八戸市産業振興部観光課☎0178 (43) 2111

7 小川原湖畔の野鳥

青森県／三沢市

音風景の種類●鳥

陽光を背にして鳴くコジュリン

小川原湖畔の初夏の草原では、日本でも珍しいオオセッカをはじめ、コジュリン、コヨシキリなどが、八甲田山の山並みを背にしてさえずる。仏沼地区では、農業と自然の共存をめざす環境教育牧場の構想がある。

草原でさえずるコヨシキリ

●**よく聞ける時期**／5月下旬から7月下旬
●**よく聞けるところ**／小川原湖畔北東部（仏沼地区）
●**問い合わせ先**／三沢市生活環境課環境係
☎0176 (53) 5111

8 奥入瀬の渓流

青森県／十和田市

音風景の種類●陸水

渓流の半ばにある阿修羅の流れ　（写真／萩尾昇）

十和田湖の子ノ口から焼山に至る14kmの渓流。繊細に流れるせせらぎ、あるいは荘厳に流れる水の変化や川の両側に点在する滝とともに岩と原生林が一体となった音風景をつくっている。

落差8mの、本流唯一の滝・銚子大滝

●**よく聞ける時期**／5月から10月
●**よく聞けるところ**／馬門橋上流や阿修羅の流れ付近
●**問い合わせ先**／十和田市観光交流部観光推進課
☎0176 (23) 5111

9 ねぶた祭・ねぷたまつり

青森県／青森市、弘前市

音風景の種類●祭りなど

市内をねり歩くその姿は勇壮で華麗

きらびやかで勇壮なねぶた・ねぷたは、ハネト（踊り子）の「ラッセラー、ラッセラー」（ねぶた）、掛け声頭・引き綱衆の「ヤーヤドー」（ねぷた）という勇壮な掛け声に、太鼓の音や囃子の笛などが相重なって聞こえてくる。この地方の夏の風物詩である。

●**よく聞ける時期**／青森ねぶた：8月2日、3日は18時50分から21時30分。4日から6日は18時30分から21時30分。7日は12時45分から15時　弘前ねぷた：8月1日から6日は夕方から夜、7日は10時から11時
●**よく聞けるところ**／青森ねぶた：アスパム周辺　弘前ねぷた：8月1日から4日、7日は土手町。8月5日から6日は弘前駅前
●**問い合わせ先**／
青森市環境政策課環境推進チーム☎017 (761) 4412
弘前市観光物産課☎0172 (35) 1111

10 碁石海岸・雷岩

岩手県／大船渡市

音風景の種類●海

押し寄せた波が豪快な音を生み出す　（写真／萩尾昇）

リアス式海岸に特有の、入江のように細くなった海岸で、洞窟に波が押し寄せ、そこの空気が圧縮されて、雷鳴のような海鳴りが起こる。これが、「雷岩」の名前の由来である。

乱曝谷の水道

●**よく聞ける時期**／波の静かな日をのぞいて、1年をとおして聞ける
●**よく聞けるところ**／離れた場所でも聞けるが、乱曝谷から雷岩の正面周辺がもっともよく聞こえる
●**問い合わせ先**／大船渡市商工観光部観光物産課観光係☎0192 (27) 3111

⑪ 水沢駅の南部風鈴

岩手県／奥州市

音風景の種類●生活その他

さまざまな形の風鈴が、それぞれ異なる音色を奏でる

JR東北本線の水沢駅の構内で、毎年6月から8月にかけてさわやかな音色を奏で、訪れる人の心を和ませている。南部鉄器で有名な鋳物の町・水沢の夏の風物詩である。

●**よく聞ける時期**／6月1日から8月31日
●**よく聞けるところ**／JR東北本線水沢駅ホーム内
●**問い合わせ先**／
奥州市市民環境部市民環境企画室
☎0197 (24) 2111

⑫ チャグチャグ馬コの鈴の音

岩手県／滝沢村

音風景の種類●祭りなど

岩手山を背に行進する馬コ

馬コを彩る装束も色鮮やか

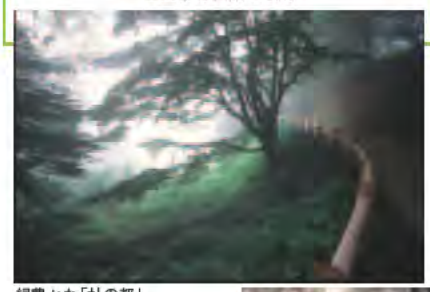
毎年6月の第2土曜日、大小の鈴をつけた100頭余りの馬コが、鬼越蒼前神社にお参りした後、岩手山を背景に「チャグチャグ」と行進する。鈴の音はみちのくに初夏を告げる風物詩として親しまれ、勇ましく賑やかに鳴り響く。

●**よく聞ける時期**／毎年6月第2土曜日の9時30分から14時ごろまで
●**よく聞けるところ**／蒼前神社（駒形神社）とその周辺
●**問い合わせ先**／
滝沢村環境産業部環境課☎019 (684) 2111

⑬ 宮城野のスズムシ

宮城県／仙台市

音風景の種類●昆虫



緑豊かな「杜の都」

樹々のざわめきも心地よい

秋の夜、岩切城跡の茂み、与兵衛沼や大堤の周辺では、スズムシの鳴き声がよく聞こえる。宮城野のスズムシは七振り鳴くといわれ、古くから親しまれてきた。「宮城野の音」としてまもる取り組みがある。

●**よく聞ける時期**／立秋過ぎから晩秋の霜の降りる前まで
●**よく聞けるところ**／高森山、枡江の森、鶴ケ谷中央公園
●**問い合わせ先**／すずむしの里づくり実行委員会事務局(宮城野区役所まちづくり推進課地域活動係)
☎022 (291) 2111

⑭ 広瀬川のカジカガエルと野鳥

宮城県／仙台市

音風景の種類●生き物複合

仙台市の中心部から1～2kmの広瀬川の河原

仙台の街の中を流れる広瀬川は、生き物も多い。5月末から8月にはカジカガエルが美しい歌声を聞かせ、年間を通じてセキレイ、カワセミ、ヤマセミなど、清流とともに鳥の声と姿を楽しむことができる。

カワセミやカジカガエルの声が響く

●**よく聞ける時期**／カジカガエルは5月末から8月まで（とりわけ、早朝・夕刻）。野鳥は1年をとおして聞ける
●**よく聞けるところ**／大橋から花壇を抜けて評定河原橋にいたる河川敷
●**問い合わせ先**／仙台市環境対策課☎022 (214) 8221

⑮ 北上川河口のヨシ原

宮城県／石巻市

音風景の種類●植物

一面に広がるヨシ原。野鳥の宝庫でもある

初夏から初冬にかけて、河面を渡る風がヨシのすれ合う音を誘い、ヨシ原一面で合唱が始まる。多様な生物相と豊かな水をたたえるヨシ原では毎年初冬、地元の人々によるヨシ刈りが行われる。

●**よく聞ける時期**／初夏から初冬にかけて
●**よく聞けるところ**／北上大橋付近
●**問い合わせ先**／
石巻市北上総合支所産業建設課地域振興グループ☎0225 (67) 2114

⑯ 伊豆沼・内沼のマガン

宮城県／栗原市、登米市

音風景の種類●鳥

朝焼けの空を飛翔するマガンの群れ

伊豆沼・内沼には、毎冬、マガンを中心に多くのガンがやってくる。マガンは、朝、日の出とともに一斉に飛び立つ。その姿と羽音、鳴き声はまさに壮観である。ラムサール条約登録湿地のひとつ。

マガンをはじめ多くのガンがここで越冬する

●**よく聞ける時期**／10月中旬から2月下旬。とくに日の出、日の入りの時刻
●**よく聞けるところ**／伊豆沼：獅子ヶ鼻県堤ほか
内沼：八沢県堤ほか
●**問い合わせ先**／宮城県伊豆沼・内沼環境保全財団総務課☎0228 (33) 2216

⑰ 風の松原

秋田県／能代市

音風景の種類●植物

風の松原では自由に散策コースをとれる

能代市域の日本海沿いの大規模な海岸林は「風の松原」と呼ばれ、先人から引き継いだ市民の貴重な財産である。その天空にそよぐ風は、黒松の針葉をくぐり抜けて"松籟"となり、松濤をよびおこす。また、ここは、「かおり風景100選」など6つの日本100選に認定され、緑豊かな自然環境は、市民に慌ただしい日常生活を忘れさせる、憩いの場、安らぎの場を与えている。

●**よく聞ける時期**／1年をとおして（とくに市街地の喧噪が聞こえない早朝）
●**よく聞けるところ**／風の松原全域。市街地（東側）に近いほど黒松の樹齢が古く、視覚、聴覚をとおして重厚な松濤が楽しめる
●**問い合わせ先**／
能代市環境衛生課環境保全係☎0185（73）5502

⑱ 山寺の蟬

山形県／山形市

音風景の種類●昆虫

夏、蟬しぐれのなか、山門をくぐると、千以上の石段が奥の院如法堂までつづく

蟬の声に対する日本人特有の感性を示すといわれる芭蕉の名句「閑さや岩にしみいる蟬の声」の舞台、立石寺（山寺）。毎年7月から8月にかけて無数の蟬の声がひとつになって深山から響く。

●**よく聞ける時期**／7月下旬から8月中旬
●**よく聞けるところ**／「せみ塚」付近、「五大堂」から奥の方など（交通音などが聞こえないようなところ）
●**問い合わせ先**／
山形市環境課公害係☎023（641）1212

⑲ 松の勧進の法螺貝

山形県／鶴岡市

音風景の種類●祭りなど

毎年12月、市内の至る所で法螺貝を吹く山伏に会える

松の勧進への出発風景

羽黒山で大晦日から元旦にかけて繰り広げられる「松例祭」。その浄財集めのために行われる伝統行事が「松の勧進」である。毎年12月、山伏たちが法螺貝の音を響かせ、家内安全などを祈りながら各家庭をまわり歩く。

●**よく聞ける時期**／12月1日から31日まで
●**よく聞けるところ**／12月1日は市内の日枝神社、12月中は市内で
●**問い合わせ先**／
鶴岡市羽黒庁舎産業課観光商工室
☎0235（62）2111

⑳ 最上川河口の白鳥

山形県／酒田市

音風景の種類●鳥

最上川河口には毎年多くの白鳥が飛来する

近くで餌を与えることもできる

毎年10月に飛来する白鳥の声は冬の訪れを感じさせ、春の北帰行までの間、朝夕の餌付けのとき、求愛や飛行のときなど、さまざまな鳴き声が聞かれる。市民が身近に白鳥とふれ合える場所であり、愛護活動も盛ん。

●**よく聞ける時期**／毎年10月上旬の第一陣の飛来から、北帰行の終わる4月上旬まで
●**よく聞けるところ**／最上川スワンパーク（最上川河川公園内出羽大橋近く）
●**問い合わせ先**／
酒田市環境衛生課環境保全係☎0234（31）0933

㉑ 福島市小鳥の森

福島県／福島市

音風景の種類●鳥

静かな小鳥の森では鳥の声がよく響く

「ツーピー、ツーピー」と鳴くシジュウカラ

福島市街地近くにある小鳥の森は、年間を通じて野鳥が多く、とくに春から初夏にかけてはシジュウカラ、クロツグミ、サンコウチョウなどの声が楽しめる。ネイチャーセンターでは、専任レンジャーによる野鳥や自然の解説を受けることができる。

●**よく聞ける時期**／4月から6月
●**よく聞けるところ**／シジュウカラの小径、カワセミの小径などの観察路。野鳥の種類によって、よく聞ける場所は異なる
●**問い合わせ先**／福島市農林整備課管理係
☎024（535）1111

㉒ 大内宿の自然用水

福島県／下郷町

音風景の種類●陸水

清冽な流れの大内宿の用水路

江戸時代の面影を残す大内宿

旧会津西街道の両脇を流れる用水路の水の音。山からの自然水を取り入れた生活用水として、江戸時代から使われ、今も大内宿の人々の生活を支えている。

●**よく聞ける時期**／1年をとおして
●**よく聞けるところ**／大内宿全域
●**問い合わせ先**／
下郷町事業課産業振興班商工観光係
☎0241（69）1144

関東

23 からむし織のはた音

福島県／昭和村

音風景の種類● 産業・交通

のどかな山里に機織りの音が響く

技術も伝えていきたいからむし織

「カラカラ」「トントン」という機織りの音が、四季折々の景色のなかで古代布「からむし織」の里に静かに響く。本州唯一のからむし栽培地として600年余の歴史を伝える音風景である。

●**よく聞ける時期**／1年をとおして。とくに周辺の雪との調和がとれる冬期は静寂のなかの音が心地よい

●**よく聞けるところ**／からむし会館。冬期は農家でも聞ける

●**問い合わせ先**／昭和村総務課企画係
☎0241 (57) 2116

24 五浦海岸の波音

茨城県／北茨城市

音風景の種類● 海

五浦の岬の突端に立つ、岡倉天心が思索の場とした朱塗りの六角堂　（写真／萩尾昇）

太平洋の荒波が断崖や岩礁に砕け散って激しい音をたてる

5つの入江をもつことから「五浦」と呼ばれる五浦海岸。波の浸食により複雑に削り取られた崖や岩礁から、太平洋の荒波が聞こえる。風光明媚な地で、海に突き出た断崖上には岡倉天心の六角堂がある。

●**よく聞ける時期**／1年をとおして聞けるが、とくに波の荒い冬

●**よく聞けるところ**／六角堂周辺や遊歩道を進んだ断崖

●**問い合わせ先**／北茨城市生活環境課環境保全係
☎0293 (43) 1111

25 太平山あじさい坂の雨蛙

栃木県／栃木市

音風景の種類● カエル

梅雨のころは、美しいあじさいはもちろん、雨蛙の姿も見られる

栃木市街地に接した太平山には、うっそうとした森の中に約1000段の石段の参道がある。6月から7月の梅雨のころ、この参道沿いに色とりどりの紫陽花が咲き、雨のしたたるあじさい坂に蛙の鳴き声が響く。

あじさい坂入口。雨蛙の声がよく聞こえるのはこの中ほど

●**よく聞ける時期**／6月下旬から7月上旬の雨どき

●**よく聞けるところ**／あじさい坂中ほど

●**問い合わせ先**／
栃木市商工観光課
☎0282 (21) 2543
㈳栃木市観光協会
☎0282 (25) 2356

26 水琴亭の水琴窟

群馬県／吉井町

音風景の種類● 生活その他

庭園の景色に溶け込む水琴窟

手を洗った水が穴から滴となって落ち、琴のような音を出すように工夫された水琴窟。高崎芸術短期大学・高崎保育専門学校構内の約4000坪の日本庭園「水琴亭」の中にあり、地域に開放され、多くの人が訪れる。

蹲居からあふれた水が地中の甕に落ちて共鳴する

●**よく聞ける時期**／毎日9時から17時（年末年始は休み）

●**よく聞けるところ**／高崎芸術短期大学・高崎保育専門学校のキャンパス内（入園無料）

●**問い合わせ先**／吉井町産業振興課商工観光係☎027 (387) 3111

27 川越の時の鐘

埼玉県／川越市

音風景の種類● 鐘

高さ16.2mの鐘楼。ここから響く鐘の音が街中に時を告げる　（写真／萩尾昇）

古い蔵造りの町並みに高くそびえる鐘楼から、1日4回（6時、12時、15時、18時）、時を告げる鐘の音。小江戸・川越のシンボルとして市民に親しまれている。また情緒豊かな音風景を求めて、この地を訪れる人も多い。

●**よく聞ける時期**／毎日4回（6時、12時、15時、18時）と8月6日、9日の原爆投下の時刻、大晦日の除夜の鐘

●**よく聞けるところ**／市街地北部。とくに幸町周辺

●**問い合わせ先**／川越市環境政策課
☎049 (224) 8811

28 荒川・押切の虫の声

埼玉県／熊谷市

音風景の種類●昆虫

人の手がほとんど加えられていない押切の河原

荒川の中流、押切の河原は、夜鳴く昆虫が多い。8月下旬から10月上旬、日が暮れるころからマツムシ、スズムシ、エゾエンマコオロギ、キリギリスなどが一斉に鳴き出す。市民グループの観察活動もある。

カンタンの姿も見られる

●**よく聞ける時期**／8月下旬から10月上旬の18時ごろから
●**よく聞けるところ**／河原の草地
●**問い合わせ先**／熊谷市環境部環境政策課☎048 (524) 1111

29 樋橋の落水

千葉県／香取市

音風景の種類●陸水

古い街並のなかにある樋橋

伊能忠敬旧宅内の用水路から水を落とす樋橋を復元したもの。落水は30分間隔で1日15回行われ、その水音にちなみ「じゃあじゃあ橋」と呼ばれる。市民ぐるみの町並み保全活動がある。

あふれ落ちる水の音が静かな街に広がる

●**よく聞ける時期**／毎日9時から16時まで30分間隔で落水
●**よく聞けるところ**／樋橋わきの伊能忠敬旧宅前
●**問い合わせ先**／香取市商工観光課☎0478 (50) 1212

30 麻綿原のヒメハルゼミ

千葉県／大多喜町

音風景の種類●昆虫

あじさいが咲き乱れる、緑豊かな麻綿原

麻綿原高原はヒメハルゼミの一大生息地。まず数匹が鳴きだすと、一斉に「ジャージャー」と鳴き始める。その様子はまるで山全体が鳴いているよう。そしてしばらくすると一斉に鳴きやむ。

羽化後まもないヒメハルゼミ

●**よく聞ける時期**／7月中旬から8月上旬
●**よく聞けるところ**／麻綿原高原一帯
●**問い合わせ先**／大多喜町環境生活課☎0470 (82) 2111

31 柴又帝釈天界隈と矢切の渡し

千葉県／松戸市、東京都／葛飾区

音風景の種類●複合

休日はとくに賑わう帝釈天（写真／萩尾昇）

帝釈天界隈とは対照的に静かな矢切の渡し

柴又帝釈天界隈には、昔ながらの商店や参拝客の賑わいがある。江戸川に出ると、川面を渡る手漕ぎの舟の音や、ヒバリ、ユリカモメの声を聞くことができる。

●**よく聞ける時期**／1年をとおして。鳥の鳴き声は季節によって種類が異なる。渡し舟は3月中旬から11月末まで毎日、それ以外の期間は土・日曜日、祝日、帝釈天の縁日の日に出る
●**よく聞けるところ**／柴又帝釈天参道と江戸川河川敷。松戸側の船着場の周囲は河川敷ゴルフ場なので、船着場付近の水際がいい
●**問い合わせ先**／松戸市商工観光課☎047 (366) 7327　葛飾区環境課相談指導係☎03 (3695) 1111

32 上野のお山の時の鐘

東京都／台東区

音風景の種類●鐘

都会の中心とは思えないほど静かな不忍池

精養軒入口の高台にある寛永寺の鐘

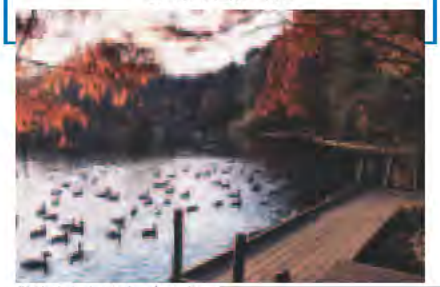
「花の雲、鐘は上野か浅草か」と詠まれたように、上野寛永寺から広く響いた鐘の音。今も毎日、6時、12時、18時に時を告げ、上野・不忍あたりの人々に親しまれている。

●**よく聞ける時期**／毎日、朝夕6時と正午
●**よく聞けるところ**／上野公園内
●**問い合わせ先**／台東区環境保全課☎03 (5246) 1281

33 三宝寺池の鳥と水と樹々の音

東京都／練馬区

音風景の種類●複合



散策路を歩けば、水の音や樹々のざわめきが周りから聞こえる

集まってきた水鳥たちのさえずりも響く

市街地に囲まれた石神井公園の中にある自然のオアシス。そっと耳を澄ませると、水鳥の羽音、水辺の音、風に揺れる樹々のざわめきなどが聞こえてくる。

●**よく聞ける時期**／1年をとおして
●**よく聞けるところ**／公園の全域
●**問い合わせ先**／練馬区環境保全課環境第一係☎03 (3993) 1111

34 成蹊学園ケヤキ並木

東京都／武蔵野市

音風景の種類●植物

並木道を吹き抜ける風も心地よい

春の新緑の優しい葉ずれ、夏の濃い緑の下のしじま、秋の軽やかな落ち葉の音、木枯らしが葉を枝を強く叩く冬……と四季折々の音を奏でる、武蔵野の音風景の代表例。並木道に季節ごとの写真を配したサインボードも設置。

●**よく聞ける時期**／1年をとおして。とくに早朝
●**よく聞けるところ**／並木道はおよそ500mつづく。幹線道路から離れる中ほどまで歩くとよい
●**問い合わせ先**／
武蔵野市環境政策課☎0422（60）1842

35 横浜港新年を迎える船の汽笛

神奈川県／横浜市

音風景の種類●産業・交通

港ならではのエキゾチックな景色

新年の始まりと同時に、世界に向かって一斉に鳴らされる汽笛。小さな遊覧船から大きな豪華客船まで、異なる音色によるハーモニーが奏でられ、新年を迎える。「みなとヨコハマ」の代表的な音風景。

大晦日、横浜港に係留されている氷川丸船上には、汽笛を聞くために多くの人が集まる

●**よく聞ける時期**／1月1日の午前0時
●**よく聞けるところ**／山下公園をはじめとする横浜港周辺
●**問い合わせ先**／
横浜市規制指導課☎045（671）2485

36 川崎大師の参道

神奈川県／川崎市

音風景の種類●産業・交通

活気あふれる仲見世通り

仲見世通り入口

参拝客で賑わう大師の参道。人々のざわめきのなか、「トントコ、トントコ」と調子をとりながら飴を切る音が、一種幽玄な音世界を創り出している。

●**よく聞ける時期**／1月から2月
●**よく聞けるところ**／川崎大師の参道（表参道、仲見世通り）
●**問い合わせ先**／
川崎市環境対策課☎044（200）2525

37 道保川公園のせせらぎと野鳥の声

神奈川県／相模原市

音風景の種類●複合

鮮やかな緑に囲まれた池

園内は四季折々に彩られる

相模川の支流のひとつである道保川。その水源地に清流と緑のふれ合いの場として整備された道保川公園では、沢のせせらぎと、メジロ、シジュウカラなどの野鳥のさえずりを楽しむことができる。

●**よく聞ける時期**／1年をとおして
●**よく聞けるところ**／園内の沢、林の中の散策路（野鳥観察小屋あり）
●**問い合わせ先**／相模原市公園課☎042（754）1111

甲信越

38 福島潟のヒシクイ

新潟県／新潟市

音風景の種類●鳥

潟上空を飛ぶオオヒシクイ

日本最大のオオヒシクイの越冬地。国の天然記念物オオヒシクイの太く力強く響きわたる鳴き声は、冬空を震わせる。野鳥や植物など自然の宝庫・福島潟は、環境学習に最適で、市民グループの活動も盛ん。

雪が舞うなか、オオヒシクイの大きな鳴き声が響きわたる

●**よく聞ける時期**／10月から翌年の3月
●**よく聞けるところ**／福島潟周辺
●**問い合わせ先**／新潟市豊栄支所文化振興課水の駅係　水の駅「ビュー福島潟」
☎025 (387) 1491

39 尾山のヒメハルゼミ

新潟県／糸魚川市

音風景の種類●昆虫

茅葺きの拝殿と社叢

能生白山神社がある尾山では、7月ごろヒメハルゼミの大合唱が聞こえる。「音頭取」と呼ばれる雄に合わせて一斉に鳴いたり、鳴きやんだりするさまは圧巻であり、現実社会を忘れさせてくれるひとときである。

羽化後まもない雄

●**よく聞ける時期**／7月中旬から8月上旬、早朝から日没後までの間
●**よく聞けるところ**／白山神社の社叢。とくにアカガシ樹林
●**問い合わせ先**／糸魚川市市民課環境対策室
☎025 (552) 1511

40 富士山麓・西湖畔の野鳥の森

山梨県／富士河口湖町

音風景の種類●鳥

公園からは富士山の姿も間近に見られる

珍しい鳥にも出会える

西湖周辺は、富士山の雄姿を間近に眺められる、野鳥の宝庫である。野鳥の森公園ではヤマガラやコガラなどが、青木ヶ原樹海の散策路ではホトトギス、ジュウイチ、ミソサザイなどの声が聞ける。

●**よく聞ける時期**／4月から5月ごろ
●**よく聞けるところ**／青木ヶ原樹海北部、西湖畔村営野鳥の森公園一帯
●**問い合わせ先**／
富士河口湖町観光課☎0555 (72) 3168

41 善光寺の鐘

長野県／長野市

音風景の種類●鐘

善光寺には、全国から多くの人が集まる

本堂の東にある鐘楼

10時から16時まで、時の鐘として鳴る。昔は約20㎞離れた更埴・杏の里まで聞こえ、「善光寺の鐘の音を聞いた杏はよく実る」と言われていた。平成10(1998)年の冬季オリンピックには開会を告げる鐘として全世界に響きわたった。

●**よく聞ける時期**／毎日10時から16時までの毎正時
●**よく聞けるところ**／昔は遠くまで聞こえたというが、今は善光寺周辺約400mの範囲。とくに市民の憩いの場所である城山公園
●**問い合わせ先**／
長野市環境管理課☎026 (224) 5034

42 塩嶺の小鳥のさえずり

長野県／岡谷市、塩尻市

音風景の種類●鳥

野鳥の姿とそのさえずりを楽しむため、多くの人が訪れる

八ヶ岳、南アルプスなどの山並みと、眼下には諏訪湖を眺めながら、野鳥の声を楽しめる。この一帯は、県の「小鳥の森」に指定されており、「野鳥の塩嶺」とも呼ばれるほど野鳥が多く生息することでも知られている。初夏には、カッコウ、キビタキ、アカハラなどの賑やかなさえずりを楽しめる。

●**よく聞ける時期**／1年をとおして。とくに初夏
●**よく聞けるところ**／塩嶺御野立公園周辺
●**問い合わせ先**／
岡谷市商業観光課☎0266 (23) 4811

北陸

43 八島湿原の蛙鳴

長野県／下諏訪町、諏訪市

音風景の種類● カエル

北からの八島湿原の風景

八島湿原の八島ヶ池は、貴重なカエルの生息地。6月から「カラララ」とふつうのアマガエルよりずっと高い鳴き声のシュレーゲルアオガエルや、「カッカッカ」と鳴くヤマアマガエルの声を聞くことができる。

初夏のシュレーゲルアオガエルの抱接

●**よく聞ける時期**／6月から7月
●**よく聞けるところ**／八島湿原周辺の散策道。湿原近くのあざみ館には資料が展示されている
●**問い合わせ先**／
下諏訪町産業観光課☎0266 (27) 1111

44 称名滝

富山県／立山町

音風景の種類● 陸水

勢いよく落ちる滝に虹がかかる

霊峰立山連峰の清流が、落差350mを一気に流れ落ちる。周りは高さ500mの断崖絶壁「悪城の壁」で囲まれ、「称名滝」の瀑音が訪れる者の感動を呼んでいる。

●**よく聞ける時期**／4月下旬から11月末日
●**よく聞けるところ**／滝見台園地
●**問い合わせ先**／
立山町住民環境課☎076 (463) 1121

45 エンナカの水音とおわら風の盆

富山県／富山市

音風景の種類● 複合

石畳も美しい諏訪町通りのエンナカ

風の盆で繰り広げられる「おわら踊り」

八尾の町の坂道に沿って流れる水路をエンナカと呼び、耳を澄ますと心地よい音がする。その水音が、9月の「おわら風の盆」の時には聞こえなくなる。民謡「おわら」が三味線、胡弓などの音色に合わせて流れ、坂の多い街の路地裏に響く。

●**よく聞ける時期**／水音は1年をとおして。風の盆は9月1日～3日、8月20日～30日は前夜祭
●**よく聞けるところ**／八尾地区内
●**問い合わせ先**／
富山市八尾総合行政センター市民生活課
☎076 (454) 3114

46 井波の木彫りの音

富山県／南砺市

音風景の種類● 産業・交通

風情ある街並の八日町通り。右奥に見えるのが瑞泉寺

井波の木彫りはとても細かい

南砺市井波地域は信仰と木彫りの里。朝の5時、瑞泉寺の鐘が響きわたるころから、町のあちこちで「トントン」「コツコツ」と木槌を打つ音、ノミで木を刻む音が聞こえてくる。地域ではその音と木の香りのある景観づくりに取り組んでいる。

●**よく聞ける時期**／1年をとおして
●**よく聞けるところ**／工房は市街地全体に点在しているが、とくに八日町通りは、古い町並や石畳と木彫りの音が調和した独特の風情がある
●**問い合わせ先**／南砺市住民環境課環境保全室
☎0763 (23) 2008

47 本多の森の蝉時雨

石川県／金沢市

音風景の種類● 昆虫

木にとまって鳴くヒグラシ

市街の中心にもかかわらず緑が多く残っている

本多の森は、金沢市街中心部の河岸段丘に沿って残されているタブ、スダジイなどの緑豊かな森。夏の朝と夕方、この森から降り注ぐヒグラシの蝉時雨は、一帯に清涼感を醸し出し、往来する市民に親しまれている。

●**よく聞ける時期**／7月上旬から8月までの朝と夕方
●**よく聞けるところ**／広坂から嫁坂までのタブ、スダジイの林周辺。とくに広坂は、地元の人に親しまれている
●**問い合わせ先**／
金沢市環境保全課☎076 (234) 5132

48 寺町寺院群の鐘

石川県／金沢市

音風景の種類●鐘

しっとりとしたたたずまいの裏通り　（写真／萩尾昇）

毎日鐘をついている寺もある

寺院群に寺は約70あるが、鐘のある寺は少なく、そのなかで毎日ついている寺は数えるほど。毎週土曜日の18時に、地元の鐘音愛好会員が6つの寺で一斉に鐘をつくので、寺町はしばし鐘音に包まれる。

●**よく聞ける時期**／独自に鐘をついている寺院では、毎日17時。地元住民がついている寺院では毎週土曜日の18時
●**よく聞けるところ**／南大通り、寺町通り。とくに交通騒音の少ない裏通り
●**問い合わせ先**／
野町鐘音愛好会☎076（241）6444

49 蓑脇の時水

福井県／越前市

音風景の種類●陸水

噴き出し口のすぐ下の小さな滝。水の量が増せば滝の音も大きくなる

大平山の北側の谷間にある間欠冷泉は、ほぼ60分間隔で水が湧き出し、滝に落ちる。昔、炭焼きや山で暮らす人々が、その滝の音を聞いて時計代わりにしたと言われている。

●**よく聞ける時期**／1年をとおして
●**よく聞けるところ**／滝の周辺
●**問い合わせ先**／
越前市環境政策課☎0778（22）3003

東海

50 卯建の町の水琴窟

岐阜県／美濃市

音風景の種類●生活その他

旧今井家住宅の庭園の一角にある水琴窟

江戸時代の民家の建築様式を伝える美濃の街並。そこに残されている「旧今井家住宅」の中庭に古くからある水琴窟。手水鉢などから流れ出した水が地中に埋め込まれた甕の中で反響し、琴の音色にも似た美しい音が聞こえる。

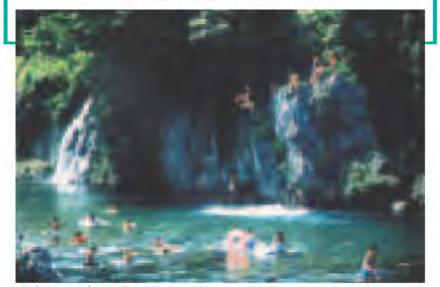
旧今井家住宅は現在は美濃史料館として公開されている

●**よく聞ける時期**／1年をとおして
●**よく聞けるところ**／水琴窟近く
●**問い合わせ先**／美濃市観光課☎0575（33）0021

51 吉田川の川遊び

岐阜県／郡上市

音風景の種類●生活その他



元気よく水と遊ぶ子供たち

郡上八幡は山間部に広がる城下町。その中央を流れる吉田川の清流では、子供たちが橋からジャンプしたり、泳いだり、“河童”のようになって川遊びをする。その歓声と水音は夏の風物詩である。

ジャンプコンテストには多くの観客が集まる

●**よく聞ける時期**／7月から8月
●**よく聞けるところ**／市街地の中央を流れる吉田川の新橋、宮ヶ瀬付近
●**問い合わせ先**／
郡上市市民環境部環境課
☎0575（67）1121

52 長良川の鵜飼

岐阜県／岐阜市、関市

音風景の種類●生活その他

鵜飼観覧船からの眺め

毎年5月から10月にかけての長良川の風物詩。鵜を励ますために船べりを叩く「ドンドン」という音と鵜匠の「ホウホウ」という掛け声、水面を走る船の音、鵜が動き回る音などが一体となり宵闇のなかに響く。

かがり火の明かりのなか、掛け声が響く

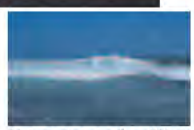
●**よく聞ける時期**／鵜飼の時期である、毎年5月11日から10月15日の19時30分ごろから20時30分ごろ
●**よく聞けるところ**／鵜飼観覧船上や河原
●**問い合わせ先**／岐阜市人・自然共生部大気環境室☎058 (265) 4141
関市商業観光課観光係☎0575 (22) 3131

53 遠州灘の海鳴・波小僧

静岡県／遠州灘

音風景の種類●海

遠州灘一帯は砂丘も美しい



波しぶきをあげて「波小僧」が響きわたる

遠州灘一帯で天気の変わり目に「ゴオー」「ザアー」「バシン」などと突然鳴り出しては、すっと鳴りやむ不思議な海鳴。人々は親しみを込めて「波小僧」と呼び、東から聞こえれば天気がくずれ、西から聞こえればよくなると言い伝えている。

●**よく聞ける時期**／1年をとおして。とくに天候の変わり目によく聞こえる
●**よく聞けるところ**／浜岡町の浜岡砂丘、大東町の千浜砂丘、竜洋町の竜洋海洋公園、浜松市の中田島砂丘、舞阪町の浜表東駐車場、浜名湖弁天島など
●**問い合わせ先**／
浜松市環境保全課☎053 (453) 6170
御前崎市市民課生活環境室☎0537 (85) 1162

54 大井川鉄道のSL

静岡県／川根本町

音風景の種類●産業・交通

白煙をあげて走るSL。汽笛が山にこだまする

南アルプス奥大井の麓にSLの汽笛が響く。野鳥たちのさえずりとともに聞こえてくる心地よく雄大な汽笛の音は、人々の心を和ませる。また、音体験ミュージアム「音戯の郷」でも、音と戯れ、音に親しむことができる。

智者の丘公園では、汽笛と野鳥の声がよく聞こえる

●**よく聞ける時期**／SLが発車するとき。とくに野鳥のさえずりが多い春から初夏にかけて
●**よく聞けるところ**／智者の丘公園
●**問い合わせ先**／
川根本町企画観光課☎0547 (58) 7077

55 東山植物園の野鳥

愛知県／名古屋市

音風景の種類●鳥

樹々に囲まれた散歩道を歩けば、野鳥の声が聞こえてくる

自然の丘陵地を利用した植物園内の万葉の散歩道、東海の森などを歩くと、シジュウカラ、メジロ、エナガなどの野鳥に出会うことができ、市民に身近な自然のふれ合いの場となっている。

園内では、さまざまな野鳥の姿を目にすることができる

●**よく聞ける時期**／1年をとおして。とくに春や秋の渡りの季節は種類も多く賑やか。季節によっては、午前中の早い時間帯が鳥の種類も多い
●**よく聞けるところ**／植物園の全域。とくに東海の森、万葉の散歩道を含めた和風庭園区域
●**問い合わせ先**／
名古屋市公害対策課☎052 (972) 2674

56 伊良湖岬恋路ヶ浜の潮騒

愛知県／田原市

音風景の種類●海

雄大な波打ち際

白砂の恋路ヶ浜では、春から夏は雄大な、秋から冬は優しい潮騒がする。藤村の詩『椰子の実』の舞台であり、三島由紀夫の小説『潮騒』の神島が沖合に浮かぶ。秋には、南の国に帰る渡り鳥が集まる場所でもある。

白い砂浜が目にまぶしい恋路ヶ浜

●**よく聞ける時期**／1年をとおして。風の影響で春から夏は雄大な、秋から冬は優しい潮騒となる
●**よく聞けるところ**／恋路ヶ浜
●**問い合わせ先**／田原市環境部環境衛生課
☎0531 (23) 3541

57 伊勢志摩の海女の磯笛

三重県／鳥羽市、志摩市

音風景の種類●産業・交通

海女総出で行われる「しろんご祭り」

息継ぎのときに発する吐息は、どこか哀調を帯びている

海女は、潜水して海面に浮上したとき、口笛に似た「ピュービュー」という吐息を発する。一種の呼吸調整法であるが、これが「海女の磯笛」である。どこか物悲しいこの音色は、潮騒の中で魅惑的に響く。

●**よく聞ける時期**／鳥羽市：7月11日に菅島で行われる「しろんご祭り」のとき　志摩町：毎年4月1日から9月14日まで
●**よく聞けるところ**／鳥羽市菅島の、港の東方「しろんごの浜」や、パールロード沿線の海岸の磯場。志摩町では、太平洋に面した片田麦崎がとくによい
●**問い合わせ先**／
鳥羽市農水商工観光課☎0599 (25) 1157
志摩市志摩支所地域振興課☎0599 (85) 1114

近畿

58 三井の晩鐘

滋賀県／大津市

音風景の種類●鐘

慶長7(1602)年、「弁慶の引摺鐘」を模して造られたといわれる三井寺の鐘

観音堂からの眺め。右は琵琶湖

古くから近江八景のひとつとされてきた音風景。毎夕5時ごろ、美しい鐘の音が市民に時を告げる。

●**よく聞ける時期**／毎日17時ごろ。また、大晦日には除夜の鐘がつかれる

●**よく聞けるところ**／園城寺(三井寺)境内およびその周辺

●**問い合わせ先**／大津市環境保全課☎077 (528) 2735

59 彦根城の時報鐘と虫の音

滋賀県／彦根市

音風景の種類●複合

琵琶湖畔の小高い丘の上に立つ彦根城　(写真／萩尾昇)

鐘の音は、城下一帯に響きわたる

彦根城内にある時報鐘は、毎日6時から18時まで3時間ごとに時を告げる。夏の夕暮れ時には彦根山一帯でヒグラシの蝉時雨が、秋には城内の玄宮園でスズムシ、マツムシなどの虫の鳴き声が聞こえる。

●**よく聞ける時期**／時報鐘は毎日6時から18時までの3時間ごと。ヒグラシの蝉時雨は7月下旬から8月下旬、スズムシ、マツムシなどは9月から10月にかけて

●**よく聞けるところ**／鐘の音は彦根城周辺。スズムシ、マツムシなどは城内玄宮園、ヒグラシは彦根城内一帯で聞ける

●**問い合わせ先**／彦根市市民環境部生活環境課・産業部観光課☎0749 (22) 1411

60 京の竹林

京都府／京都市

音風景の種類●植物

野宮神社から常寂光寺へ抜ける小路では、竹林が左右に広がる　(写真／萩尾昇)

京都の嵯峨野と洛西には、竹林が広がる。その竹林が風にそよいで揺らぎ、さざ波や大波を生み、生き物のように波打ってさまざまな音を奏でる。未来に引き継がれてほしい古都の音風景。

●**よく聞ける時期**／1年をとおして。とくに青竹の緑が目に鮮やかな5月から6月

●**よく聞けるところ**／嵯峨野：天龍寺北側、野宮神社から常寂光寺への小路　洛西：西芳寺・地蔵院周辺や大原野神社・勝持寺周辺、京都市洛西竹林公園とその周辺

●**問い合わせ先**／京都市環境局地球環境政策部地球温暖化対策課☎075 (222) 3452

61 るり渓

京都府／南丹市

音風景の種類●陸水

高さ12.5mの水のカーテンがある遊歩道最終地点

標高500mの高原に緑と渓谷が織りなす「るり渓十二勝」。さまざまな滝や岩が両岸の樹々と調和し、四季折々の美しい景観や滝の音を楽しめる。

るり渓のシンボル的存在の鳴瀑

●**よく聞ける時期**／1年をとおして

●**よく聞けるところ**／鳴瀑、双龍淵、弾琴泉、千幻瀑など

●**問い合わせ先**／南丹市農林商工課☎0771 (68) 0050

62 琴引浜の鳴き砂

京都府／京丹後市

音風景の種類●海

松林の緑と白砂の組み合わせが美しい琴引浜

踏み締めたり手で砂をかき集めて押すと乾いた音がする

琴引浜は、代表的な鳴き砂の浜。足でこするように歩くと「キュッキュッ」という音が、両手で乾いた砂を集めて押し出すと「グッグッ」という音がする。地元の保全活動も盛んで、鳴き砂文化館もある。

●**よく聞ける時期**／1年をとおして、砂が湿っていなければ聞ける。とくに春先

●**よく聞けるところ**／太鼓浜周辺とその西側でとくによく聞ける

●**問い合わせ先**／京丹後市教育委員会文化財保護課　☎0772 (69) 0640

63 淀川河川敷のマツムシ

大阪府／大阪市

音風景の種類●昆虫

淀川の向こうには繁華街が広がる

ヨシの茂るなかには散策路やベンチがある

淀川の大淀野草地区では、両岸にこうこうと夜空を照らす梅田、十三の明かりのなかで、暗闇の別世界が広がる。秋の夜、多くの虫の音が聞こえ、とりわけマツムシの独特の澄んだ音が響く。

●**よく聞ける時期**／秋の日没前後から深夜にかけて

●**よく聞けるところ**／淀川河川公園大淀野草地区の全域。とくに草むらのなかの散策路。また、淀川右岸の菅原城北大橋付近や淀川左岸の城北公園周辺でも聞ける

●**問い合わせ先**／大阪市都市環境局環境活動推進担当☎06 (6615) 7636

64 常光寺境内の河内音頭

大阪府／八尾市

音風景の種類●祭りなど

常光寺境内で繰り広げられる河内音頭

八尾小学校での盆踊り

「河内音頭」は口説きの形式の盆踊り唄で、日本を代表する音頭。多くの流派があり、現代的なスタイルでも演じられるが、常光寺は、河内音頭の原型である正調の発祥地。

●**よく聞ける時期**／8月23日、24日の両日。冬以外は正調河内音頭保存会が境内の稽古場で練習している

●**よく聞けるところ**／常光寺境内。この時期、市内のどこでも地蔵盆が開かれ、盆踊りも行われる

●**問い合わせ先**／八尾市環境部環境総務課☎072 (924) 8537

65 垂水漁港のイカナゴ漁

兵庫県／神戸市

音風景の種類●産業・交通

カモメの鳴き声に包まれて出発する漁船

イカナゴのくぎ煮の香りが街に漂うと神戸に春が訪れる。夜明けを待ちかねた漁船は一斉に漁場をめざす。ウィンチの響きにイカナゴが躍り、きらきらと銀色に輝く。朝焼けの空をカモメが舞う。活気あふれる垂水の海の音。

引き上げられた網の中では無数のイカナゴが元気にはねる

●**よく聞ける時期**／2月下旬から4月下旬

●**よく聞けるところ**／垂水漁港一帯

●**問い合わせ先**／神戸市環境局環境保全指導課☎078 (322) 5303

66 灘のけんか祭りのだんじり太鼓

兵庫県／姫路市

音風景の種類●祭りなど

絢爛豪華な屋台の練り合わせ

毎年10月14、15日、松原八幡神社と御旅山で行われる灘のけんか祭り。その「だんじり太鼓」の音が、天然の桟敷席のような御旅山の段々畑に響きわたる。

●**よく聞ける時期**／10月14日、15日

●**よく聞けるところ**／14日：宵宮の午後、松原八幡神社で　15日：本宮の早朝から夕刻にかけて、松原八幡神社と御旅山で

●**問い合わせ先**／姫路市環境局環境美化部環境保全課☎0792 (21) 2463

67 春日野の鹿と諸寺の鐘

奈良県／奈良市

音風景の種類●複合

東大寺・二月堂からの夕景　(写真／萩尾昇)

東大寺・南大門の東の広場を走る鹿

早朝の春日野では、鹿寄せホルンの音とともに鹿の声が近づいてくる。夕暮れになると興福寺、東大寺などの鐘の音があたりに響き、古都の一日の終わりを告げる。

●**よく聞ける時期**／鹿の鳴き声は1年をとおして。東大寺の鐘は20時、興福寺の鐘は6時、正午、18時の1日3回

●**よく聞けるところ**／鹿の鳴き声は春日野周辺。鐘の音は、それぞれの寺の周辺

●**問い合わせ先**／奈良市環境保全課☎0742 (34) 1111

68 不動山の巨石で聞こえる紀の川

和歌山県／橋本市

音風景の種類●その他

不動山の頂にある不動尊は、永禄年間に信仰を集めたといわれる。手前左に見えるのが直径約20cmの穴

不動山山頂にある巨石には、直径約20cmの穴がある。そこに耳をあてると、「あの世の音、この世の音」、あるいは遠く離れた「紀の川の清流の音」とも言われる不思議な音が聞こえる。

●**よく聞ける時期**／1年をとおして

●**よく聞けるところ**／巨石にあいた穴に耳をあてると聞こえてくる

●**問い合わせ先**／橋本市生活環境課☎0736 (33) 6100

中国

69 那智の滝

和歌山県／那智勝浦町

音風景の種類●陸水

落差133mの滝の音は、耳を聾するほど
（写真／大森裕之）

熊野詣を象徴する滝の音。参道からは滝音が遠く聞こえるだけで姿は見えず、那智大社では地形の関係で音さえ聞こえなくなるが、そこから奥へ進むと大滝が豪音とともに現れる。その変化する滝音は、古来、人々にこの地の神秘性を印象づけてきた。

●**よく聞ける時期**／1年をとおして。とくに多雨の時期
●**よく聞けるところ**／滝へ降りる坂の中段から下段くらいのところ
●**問い合わせ先**／
那智勝浦町観光課☎0735 (52) 0555

70 水鳥公園の渡り鳥

鳥取県／米子市

音風景の種類●鳥

ネイチャーセンターからは、つばさ池の水鳥を観察できる

つばさ池で羽を休めるコハクチョウの群れ

中海に面する水鳥公園は、コハクチョウの集団越冬地の国内南限地であり、越冬のため飛来するコハクチョウやガンカモ類などの姿と鳴き声が楽しめる。市民グループによる保全活動も盛ん。

●**よく聞ける時期**／10月中旬から翌年の3月中旬
●**よく聞けるところ**／公園内のつばさ池と周辺
●**問い合わせ先**／米子市観光課☎0859 (23) 5211

71 三徳川のせせらぎとカジカガエル

鳥取県／三朝町

音風景の種類●複合

せせらぎが美しい三徳川。両岸には温泉旅館が並ぶ

石の上のカジカガエル

三徳川の清流に夕闇が迫る黄昏時、「フェルル…フェルル…ホロホロホロ…」と澄んだ笛のような美しい音色が川辺一帯より聞こえてくる。川のせせらぎと調和し、どこか懐かしい風情が漂う。これをまもり育てる活動も盛んに行われている。

●**よく聞ける時期**／初夏から初秋（6月から9月）にかけて
●**よく聞けるところ**／三朝温泉恋谷橋、やなせ公園緑地地帯
●**問い合わせ先**／
三朝町観光商工課☎0858 (43) 3514

72 因州和紙の紙すき

鳥取県／鳥取市青谷町、鳥取市佐治町

音風景の種類●産業・交通

青谷町の山根集落。小川が流れ、水田が広がる（写真／萩尾昇）

清らかな水に溶かしたミツマタなどの繊維を汲み取り、「チャッポン、チャッポン」と何回も何回も揺り動かしながら紙をすき上げていく音。因州に伝わる手すき和紙産業の伝統的な音である。

因州和紙の手すき風景

●**よく聞ける時期**／1年をとおして。紙すきが行われる朝から晩まで
●**よく聞けるところ**／青谷町：山根、河原集落内
佐治町：町全域で聞こえるが、とくに津無地区、誉谷地区
●**問い合わせ先**／鳥取市青谷町総合支所産業建設課☎0857 (85) 0015　鳥取市佐治町総合支所市民生活課☎0858 (88) 0213

73 琴ヶ浜海岸の鳴き砂

島根県／大田市

音風景の種類●海

美しい砂浜がのびる琴ヶ浜海岸

夏は海水浴客で賑わう

琴ヶ浜海岸の砂浜を歩くと、「キュッキュッ」と美しく心地よい音がする。海水浴や盆踊り、運動会など地域の人々の集いの場であり、町民ぐるみの清掃など鳴き砂の保全活動も盛んである。

●**よく聞ける時期**／1年をとおして
●**よく聞けるところ**／波打ち際から4〜5mくらいのところ
●**問い合わせ先**／
大田市環境衛生課☎0854 (82) 1600

74

諏訪洞・備中川のせせらぎと水車

岡山県／真庭市

音風景の種類●複合

夏でも涼しい諏訪洞内

備中川を飛び交うホタル

全長900mの鍾乳洞「諏訪の穴」。奥から湧き出る冷たい水は、ホタルの群生する備中川へと流れる。清らかなせせらぎと水車が回る心地よい音は郷愁をさそう。

●**よく聞ける時期**／1年をとおして。とくに春から夏
●**よく聞けるところ**／水車のそば
●**問い合わせ先**／
真庭市北房支局総務振興課☎0866 (52) 2111

75

新庄宿の小川

岡山県／新庄村

音風景の種類●陸水

小川のせせらぎが古い街並みのなかで涼しげに聞こえる

宿場の風情が今も残る

出雲街道の新庄宿で、桜並木のある道の両脇から聞こえる小川の音。今も涼しげな音色が聞こえ、地域の人々の生活用水として大切にされている。

●**よく聞ける時期**／1年をとおして。とくに満開の桜の時期と紅葉の時期
●**よく聞けるところ**／がいせん桜通り
●**問い合わせ先**／
新庄村産業建設課☎0867 (56) 2628

76

広島の平和の鐘

広島県／広島市

音風景の種類●鐘

自由に鳴らすことのできる平和の鐘　(写真／萩尾昇)

時計塔からは毎朝鐘の音が流れる

広島の平和記念公園で、毎年8月6日に鳴らされる鐘、訪れる人が思い思いに打ち鳴らす鐘、毎朝8時15分に鳴る時計塔は、被爆死没者の鎮魂とともに、核兵器根絶と恒久平和の願いを世界に伝える。

●**よく聞ける時期**／8月6日の「平和記念式典」。チャイム音は毎朝8時15分。ほかに訪れる人が自由に鳴らせる鐘もある
●**よく聞けるところ**／平和記念公園内
●**問い合わせ先**／広島市環境局環境保全課大気騒音係☎082 (504) 2187

77

千光寺鷲音楼の鐘

広島県／尾道市

音風景の種類●鐘

千光寺公園から見た尾道の夜景。鐘の音は向こうの山にこだまする　(写真／萩尾昇)

「音に名高い千光寺の鐘は、一里聞こえて二里ひびく」と言われるほど、遠く瀬戸の島々にも聞こえたと伝えられる。今も毎日18時、しまなみ海道に夕日が沈むとき、寺と坂の町・尾道に鐘の音が鳴り響く。

●**よく聞ける時期**／毎日18時と大晦日（除夜の鐘）
●**よく聞けるところ**／「文学のこみち」や「古寺めぐりコース」など
●**問い合わせ先**／
尾道市生活環境課環境整備係
☎0848 (25) 7132

78

山口線のSL

山口県／山口市・島根県／津和野町間

音風景の種類●産業・交通

汽笛を響かせて山間を力強く走るSLやまぐち号

21世紀、新しいSLロマンが発車する……。「貴婦人SLやまぐち号」は、種田山頭火が愛した「小郡」から山陰の小京都「津和野」の間を、四季折々の沿線風景を背に、多くの人の夢を乗せて走る。

●**よく聞ける時期**／3月から11月のSL運転日
●**よく聞けるところ**／JR山口線小郡駅と津和野駅間
●**問い合わせ先**／
山口線SL運行対策協議会☎083 (933) 3170
山口県環境政策課大気・化学物質環境班
☎083 (933) 3034

四国

79 鳴門の渦潮

徳島県／鳴門市

音風景の種類●海

観潮船から見た渦潮と大鳴門橋。間近に見る渦潮には、引き込まれそうな迫力がある

鳴門海峡では、潮の干満によって大小無数の渦が生じ、春と秋の大潮時に最大となる。竜巻のような大きな轟音をたて、交錯しながら流れていくさまは壮観である。

●**よく聞ける時期**／春と秋の大潮時期
●**よく聞けるところ**／観潮船に乗れば、間近で見て聞くことができる
●**問い合わせ先**／
鳴門市経済部商工観光課☎088 (684) 1157
鳴門市観光情報センター☎088 (686) 0743

80 阿波踊り

徳島県／徳島市ほか

音風景の種類●祭りなど

「女おどり」は華麗でしなやか

「男おどり」は勇ましく豪快

阿波踊りで三味線が奏でる音を「ぞめき」と呼ぶ。毎年８月の阿波踊りが近づくと、街角から「ぞめき」の練習音が聞こえ、阿波の地に夏の到来を告げる。

●**よく聞ける時期**／7月から8月中旬
●**よく聞けるところ**／徳島市内中心部の公園、広場など各所
●**問い合わせ先**／徳島市観光課☎088 (621) 5232

81 大窪寺の鐘とお遍路さんの鈴

香川県／さぬき市

音風景の種類●生活複合

お遍路さんは全国各地から集まる

大窪寺は、四国霊場第88番札所。心願成就を願って出かけた四国遍路の旅を締めくくる大窪寺の鐘とお遍路さんの鈴の音が、四季折々の景観のなかで響きわたる。

山門の鐘の音は、四国遍路最後の響きだ

●**よく聞ける時期**／1年をとおして。とくにお遍路さんが多い春と秋
●**よく聞けるところ**／大窪寺境内とその周辺
●**問い合わせ先**／さぬき市建設経済部商工観光課
☎087 (894) 1114

82 満濃池のゆるぬきとせせらぎ

香川県／まんのう町

音風景の種類●複合

ゆるぬきでほとばしり出た水の流れは、堤防下ではせせらぎとなる

満濃池は「讃岐の水がめ」と呼ばれる灌漑用のため池

満濃池のゆるぬきとは、毎年６月中旬、田植えを前に池の「ゆる」（取水栓）を抜く豊作祈願の儀式。勢いよく放出される水音は、豊作を祈る人々の心に響きわたる。

●**よく聞ける時期**／毎年6月13日から1週間くらい
●**よく聞けるところ**／満濃池堤防下の「ほたる見公園」
●**問い合わせ先**／
まんのう町産業経済課☎0877 (73) 0106
［平成18年３月20日より、まんのう町産業経済課☎0877 (73) 0105

83 道後温泉振鷺閣の刻太鼓

愛媛県／松山市

音風景の種類●生活その他

本館の屋上にそびえる振鷺閣

道後温泉本館の振鷺閣の太鼓の音。毎日、6時、正午、18時に打ち鳴らされ、とくに、6時の太鼓の音は道後温泉本館の開館を知らせ、湯の街に一日の始まりを告げている。

本館開始を伝える太鼓の音

●**よく聞ける時期**／1年をとおして。とくに空気の乾いている秋から冬
●**よく聞けるところ**／道後温泉本館付近
●**問い合わせ先**／
松山市環境指導課☎089 (948) 6442

九州・沖縄

84 室戸岬・御厨人窟の波音

高知県／室戸市

音風景の種類●海

太平洋の荒波が岩礁に砕け散る

御厨人窟では、海底から聞こえてくるような地響きにも似た音が響く

室戸岬に押し寄せる波の音が、ときに大きく、ときにはかすかに、御厨人窟の洞内に響く。1200年前、弘法大師が厳しい修行をした当時の様子が偲ばれる。

●**よく聞ける時期**／1年をとおして。とくに波の高いとき
●**よく聞けるところ**／洞窟の中
●**問い合わせ先**／
室戸市観光深層水課☎0887（22）5134

85 博多祇園山笠の舁き山笠

福岡県／福岡市

音風景の種類●祭りなど

男たちのかけ声が博多の町を盛り上げる

祇園山笠は、7月1日に始まり、10日の「流れ舁き」を経て15日の「追い山笠」で最高潮となる。「オイサッオイサッ」の舁き手のかけ声と勢い水の水しぶき、博多手一本、博多祝い唄などが一体となった博多の夏の風物詩。

●**よく聞ける時期**／「追い山ならし」は7月12日15時59分から、「集団山見せ」は7月13日15時30分から、「追い山笠」は7月15日4時59分から
●**よく聞けるところ**／「追い山ならし」と「追い山笠」は櫛田神社、「集団山見せ」は福岡市役所・地下鉄中洲川端駅周辺
●**問い合わせ先**／福岡市環境局総務部環境啓発課企画係☎092（733）5381

86 観世音寺の鐘

福岡県／太宰府市

音風景の種類●鐘

日本最古といわれる鐘は、国宝にも指定されている

境内の鐘楼。ここから古来の音が響く

天智天皇の創建と伝えられる観世音寺の、日本最古の鐘の音。毎月18日の13時と大晦日の夜、歴史を刻む太宰府の街に響きわたる。

●**よく聞ける時期**／毎月18日の13時と、大晦日の除夜の鐘（鐘の保護のため自由につくことはできない）
●**よく聞けるところ**／観世音寺の境内
●**問い合わせ先**／太宰府市市民生活部環境課環境政策係☎092（921）2121

87 関門海峡の潮騒と汽笛

福岡県／北九州市、山口県／下関市

音風景の種類●複合

関門橋の下を大小の船が行き交う

観潮遊歩道では、潮騒と汽笛がよく聞こえる

海峡のいちばん狭いところは、「早鞆の瀬戸」と呼ばれ、幅わずか700m。潮流が激しく、大小の船が行き交う難所。壇ノ浦の合戦、武蔵と小次郎の巌流島の決闘など、歴史とロマンを彷彿とさせる。

●**よく聞ける時期**／1年をとおして。とくに春秋の大潮のころ
●**よく聞けるところ**／門司側：和布刈公園観潮テラスと観潮遊歩道周辺　下関側：みもすそ川町みもすそ川公園、関門海峡早鞆信号所、阿弥陀寺町市民コミュニティー広場と阿弥陀寺公園
●**問い合わせ先**／北九州市環境局環境監視部環境保全課大気騒音係☎093（582）2290　下関市環境政策課管理係☎0832（52）7115

88 唐津くんちの曳山囃子

佐賀県／唐津市

音風景の種類●祭りなど

曳子のかけ声と鉦や太鼓の音のなか、勇壮華麗な曳山の車輪がきしむ

唐津くんちは、唐津神社の伝統的な秋祭り。唐津くんちの最大の呼びものは14台の曳山行列で、車輪のきしむ音とともに鉦や笛、太鼓の音、そして各ヤマごとに微妙に異なるお囃子が聞こえる。

唐津神社前に並んだ曳山

●**よく聞ける時期**／10月1日から10月末日の夜（街角での練習風景）、11月2日（宵ヤマ）から11月4日（くんち当日）
●**よく聞けるところ**／市内
●**問い合わせ先**／
唐津市商工観光部観光課☎0955（72）9127

89 伊万里の焼物の音

佐賀県／伊万里市

音風景の種類●産業・交通

大川内山は、三方を切り立った山に囲まれた静かな地

市内の藩窯公園では、陶石を砕く唐臼の音、めおとしの塔の音、ろくろの回る音など、焼物にかかわるさまざまな音を聞くことができる。鍋島藩窯としてこの地で作陶が始められてから300年余の歴史をもつ、焼物の町の音風景。

奥に見えるのが藩窯公園の唐臼、手前右にあるのが焼物の風鈴の澄んだ音を聴らすめおとしの塔

●**よく聞ける時期**／1年をとおして
●**よく聞けるところ**／伊万里市大川内山
●**問い合わせ先**／伊万里市生活環境課 ☎0955 (23) 2144

90 山王神社被爆の楠の木

長崎県／長崎市

音風景の種類●複合

境内に大きな影を落とす楠。そこに立つと、風に揺れる葉のざわめきが聞こえる　(写真／萩尾昇)

平和への祈りからか、木には無数の折り鶴が下げられている。幹の黒い部分は治療している個所

境内にある2本の大きな楠は原爆によって黒ずみ、枯れたかに見えたが、奇跡的に芽を吹き、人々を勇気づけた。被爆を記憶している楠は、木の下に集まる人々に今も葉ずれの音を奏でている。

●**よく聞ける時期**／1年をとおして
●**よく聞けるところ**／山王神社境内、2本の楠の木の下
●**問い合わせ先**／長崎市環境保全課☎095 (829) 1156

91 通潤橋の放水

熊本県／山都町

音風景の種類●陸水

弧を描きながら水が豪快にほとばしる　(写真／萩尾昇)

放水が始まると、あたりは水の轟音で包まれる

水不足に苦しむ白糸台地に農業用水を送るため、江戸時代末の嘉永年間(1848～1854)につくられた石造りの水路橋。放水口の栓を抜くため木槌で叩く音につづいて放水が始まり、空に弧を描きながら水が躍り出る。

●**よく聞ける時期**／田植え期間（5月～6月）をのぞく放水時（要予約）
●**よく聞けるところ**／通潤橋付近
●**問い合わせ先**／山都町商工観光課☎0967 (72) 1158

92 五和の海のイルカ

熊本県／天草市

音風景の種類●哺乳類

しぶきをあげて飛びはねる人なつこいイルカ

天草の五和の海には、約300頭の野生のイルカが生息している。船で10分ほど行くと群れに出会い、しぶきをあげて群れ泳ぐイルカたちの息吹が聞こえる。イルカとの共存をめざす漁業の町の音風景。

二江港。ここから船で沖合いに10分ほど行くとイルカに出会える

●**よく聞ける時期**／1年をとおして
●**よく聞けるところ**／天草の五和町通詞島の沖合一帯
●**問い合わせ先**／天草市五和支所地域振興課 ☎0969 (32) 1111

93 小鹿田皿山の唐臼

大分県／日田市

音風景の種類●産業・交通

集落には40基の唐臼がある　(写真／萩尾昇)

川から引いた水の力を利用して動く唐臼。水の流れる音と唐臼の動く音が心地よい

日田に伝わる小鹿田焼は、水の力を利用する独特の唐臼で陶土をつく作業から始まる。山間の焼き物の里に、唐臼の音がやさしく響く。

●**よく聞ける時期**／1年中いつでも聞ける（ただし大晦日は休み）。音のある風景としては、新緑のときもよし、秋色のなかもよい
●**よく聞けるところ**／小鹿田皿山の川沿い
●**問い合わせ先**／日田市環境課企画推進係☎0973 (22) 8208

94 岡城跡の松籟

大分県／竹田市

音風景の種類●植物

本丸跡には樹齢100年の老木が立つ。ここからの眺めも素晴らしい

滝廉太郎が『荒城の月』を作曲したときイメージしたという岡城跡の、松の老木を吹き渡る風の音。城跡に立てば、祖母傾・阿蘇くじゅうの山並みを眼前に、松を渡る風が心地よく聞こえる。

●**よく聞ける時期**／1年をとおして。とくに中秋の名月より晩秋にかけて
●**よく聞けるところ**／岡城本丸跡
●**問い合わせ先**／竹田市教育委員会文化財課☎0974 (63) 4818

95 三之宮峡の櫓の轟

宮崎県／小林市

音風景の種類●陸水

滝壺を上からのぞき込むと、岩に反響する水音に圧倒される　（写真／萩尾昇）

三之宮峡の渓流が、落差7m余りの滝となり、巨石に囲まれた滝壺に落ちる。周りの場所では普通の沢音のように聞こえるが、滝壺をのぞき込むと淵にこもった滝音がとどろきわたることから、「櫓の轟」と呼ばれるようになった。

●**よく聞ける時期**／1年をとおして
●**よく聞けるところ**／三之宮峡遊歩道第8トンネルを過ぎ、千畳岩手前付近
●**問い合わせ先**／
小林市商工観光課☎0984 (23) 1174

96 えびの高原の野生鹿

宮崎県／えびの市

音風景の種類●哺乳類

四季折々の変化に富んだ景色を見せるえびの高原

南九州では珍しい雪景のなかの野生鹿

えびの高原は動植物の宝庫で、野生鹿が高原一帯を大小の群れをなして行動する。とくに秋は、夜に雄鹿が雌鹿を呼ぶ「キーン、キーン」という鳴き声が、高原の暗闇によく響きわたる。

●**よく聞ける時期**／1年をとおして。とくに秋の夕方から朝にかけて
●**よく聞けるところ**／えびのビジターセンター近くの「ピクニック広場」や「えびの市営キャンプ場」内
●**問い合わせ先**／
えびの市観光商工課☎0984 (35) 1111

97 出水のツル

鹿児島県／出水市

音風景の種類●鳥

一斉に飛び立つツルの姿は壮観

競い合うように鳴くツル

特別天然記念物のツルは、地域住民の保護活動により年々増加し、平成9(1997)年からは1万羽以上飛来している。長寿の象徴であるツルの「クルー、クルー」という鳴き声が大空に響きわたる。

●**よく聞ける時期**／10月中旬から翌年の3月中旬
●**よく聞けるところ**／出水市荒崎地区（ツルの保護地区とその周辺）：「ツル観察センター（市営、有料）」は保護地区を一望に見渡せ、ツルの鳴き声を間近に聞くことができる　出水市街地：世界でも珍しいツルの博物館「クレインパークいずみ」で、鳴き声や生態など数多くの資料が展示されている
●**問い合わせ先**／
出水市商工観光課観光係☎0996 (63) 2111

98 千頭川の渓流とトロッコ

鹿児島県／屋久町

音風景の種類●複合

千頭橋を走るトロッコ

屋久杉の山を流れ下る千頭川に沿って、渓流の音の中を森林軌道のトロッコが走る。世界遺産の島・屋久島の自然にふれる"動く環境教室"として活用しようという計画がある。

車窓からは樹齢3000年の紀元杉も見られる

●**よく聞ける時期**／定期運行のとき
●**よく聞けるところ**／森林軌道沿線
●**問い合わせ先**／屋久町企画調整課☎0997 (47) 2111

99 後良川周辺の亜熱帯林の生き物

沖縄県／竹富町

音風景の種類●生き物複合

マングローブが広がる後良川

西表島の後良川周辺はマングローブなどの自然環境が豊かな場所で、アカショウビン、オオクイナ等の鳥や、ハラブチガエルなど、亜熱帯の多様な生き物の声を聞くことができる。

4月から9月にかけてはリュウキュウアカショウビンの鳴き声が聞ける

●**よく聞ける時期**／リュウキュウコノハズクは夜間、オオクイは1月から5月の夕方、リュウキュウアカショウビンは4月から9月の早朝と夕方、ヤエヤマハラブチガエルは4月から9月の夜間、リュウキュウクマゼミは6月から9月の日中
●**よく聞けるところ**／低地林やマングローブなど
●**問い合わせ先**／
竹富町企画財政課☎0980 (82) 6191
西表野生生物保護センター☎0980 (85) 5581

100 エイサー

沖縄県／うるま市

音風景の種類●祭りなど

太鼓やサンシンの音、そして踊り手の歌声が響きわたる

与那城町屋慶名青年会のエイサー

旧盆に先祖の供養を行うため人々が行列をつくり、太鼓（パーラーンク）とサンシン（三味線）でエイサー唄を歌い、踊りながら家々をまわる沖縄の伝統行事。唄や踊りは地区により異なり、各々の地区で大切に受け継がれている。

●**よく聞ける時期**／旧暦7月15日、16日。本番の2カ月ほど前から始まる練習でも聞くことができる
●**よく聞けるところ**／沖縄本島　屋慶名：屋慶名集落全体。練習が行われるJAゆいな与那城支所の駐車場と与那城小学校の運動場で行われる　平敷屋：旧暦7月15日は拝所近くのタキノー公園。16日は平敷屋小学校近く
●**問い合わせ先**／
うるま市環境課☎098 (973) 5594

残したい
“日本の音風景100選”

●発行●

環境省

水・大気環境局大気生活環境室

http://www.env.go.jp/

oto@env.go.jp

RE100

PRINTED WITH SOY INK

本パンフレットは、用紙には古紙配合率100％再生紙を、印刷インキには大豆インキを使用しています。このSOY INKマークは米国大豆協会承認マークです。